

在日外国人をめぐるネットワーク状況

——東海地域在住タイ人の事例から——

石井 香世子

はじめに

本研究ノートは、筆者が2005年9月から11月にかけて行った、地方都市圏における在日タイ出身者の実態把握調査の予備調査結果の報告である。

既存の移民研究において、移民のなかのネットワーク形成は、主要な研究課題のひとつとなってきた。ネットワーク形成の目的は、政治的なもの (Guarnizo, Porte and Hallar 2003)、経済的なもの (Guarnizo 2003)、また社会的なもの (Palloni et. al. 2001) などさまざまであるが、いずれにせよ、それらの移民ネットワーク研究は、以下の2つに分類することができた。

そのひとつは、ある特定の地域における移民間のネットワーク形成に関する研究であった。これらの研究では、移住先社会において移民間に構築された——もしくは構築されつつあるネットワークの構造を明らかにし、その機能について検証するものであった (石井 2003; Truong 1996)。また別の一つは、トランス・ナショナルな移民ネットワークの機能に関するものであった。これらの研究は、超国家的な移民と本国とのネットワーク、もしくは超国家的な移民どうしのネットワークの構造を明らかにし、それらが移住行為や、移住者の生活にどのような影響を与えているかを検討した (Jae-Soon an Behshid 2002; Hanafi 2005; Marina 2002; Parrenas 2001; Piper and Uhlin 2002)。

しかし、既存の移民ネットワークに関する研究は、それが域内のものであれ、トランス・ナショナルなものであれ、ネットワークのつ

ながり部分のみに注目してきた。しかし、これら既存研究が検証してきた移民ネットワークは、果たして研究者が想定する“同じ属性”の人々すべてにとってアクセス可能なものなのであろうか。そもそも、はたして移民社会に生きる人々は、既存研究が前提としてきたように、主流社会からみた“共通属性”(ナショナリティ等)があれば、「我々」意識を共有できるものなのだろうか。また逆に、主流社会から見て、ナショナリティや立場を共有しているのではないかと推察される人々であれば、当然のように団結して単一のネットワークを形成するものなのだろうか。このとき主流社会の人々が気づいていない立場の違いや、考え方の違いによって、いくつものネットワークが共存・対立・相克することはないのだろうか。政策決定者や研究者など主流社会からは、主流社会の構成員以外の越境移住者として分類される人すべてが、越境移住者としてのコミュニティに収容可能なものなのだろうか。もし主流社会が想定する越境移住者と、当事者たちが想定する越境移住者との想定範囲にズレがあった場合、そのズレから何が生まれるのだろうか。

あるネットワークのつながりがあれば、そこから排除されるモノはないのだろうか。もしあるとすれば、排除のメカニズムはどのように働いているのだろうか。既存研究は、ネットワーク間の相互関係や影響については議論の対象として来なかったが、その点について議論の余地はないのだろうか。本稿は、この点を確認するために近い将来に計画している2つの調査 (①移民ネットワークから排除される部分の把握、②移民間の多様性の把握

を目的に行う調査)の予備調査結果の中間報告である。

1. 調査概要

今回の調査は、在日「タイ出身者」をめぐる相互扶助ネットワークに関する調査の、予備調査として行われたものである。調査期間は2005年9月1日から2005年11月22日までであり、調査方法は、質問紙法(一部郵送質問紙法を併用)、調査の対象とする母集団は、愛知・三重・岐阜県(以下東海地区)に住む、1年以上の日本滞在経験を持つか、もしくは1年以上の日本滞在予定を持つタイ出身者とした。

調査対象者の選定に関しては、母集団に関する台帳や名簿が存在しないため、抽出法はとることができない。そこで、主に以下の3つの場と手法で可能な限り全員にアンケート調査表¹⁾を配布し、可能な限り回収した。具体的には、下表に示す7つの場と手法で調査票を配布・回収した。

対象を東海地区に住むタイ出身者に限定した理由は、在日タイ出身者が以下の特徴を持

つと考えたためである。①外国出身長期滞在者の中でマイノリティにあたり、長期滞在外国出身者間の関係性を調査する際に有効な対象である、②外国出身長期滞在者の中のマジョリティであるブラジル系・フィリピン系と異なり、キリスト教会という結節点を持たない、③末端の人々まで英語で調査可能なフィリピン系に比べ既存のフィールド調査がほとんどない、④入国ビザ枠があるため職位の均一性が高い、マジョリティである日系ブラジル人やフィリピン系等と異なり、大量受入れ枠となっている特長的な就労入国ビザ枠がない。このため、タイ出身者間の多様性が大きい、という点を考慮した結果である。

2. 調査結果

(1) 調査回答者の所有ビザ別グループ

今回の調査は、あくまでも予備調査であり、調査対象は合法滞在者に限って行われた。このとき調査対象者は、全体として、男性27名、女性48名の75名であった。そのうち、男性は22歳から45歳までの平均年齢29.5歳、女性は18歳から55歳までの平均年齢26.8歳で

日時	調査場所	調査方法	調査対象の属性	有効回答数
10/29-11/22	名古屋市内個人宅・NPO等	タイ人協力者による直接配布・回収	労働ビザ保有者・配偶者ビザ所有者	9
11/23	名古屋 移動領事館会場 於：日泰寺(名古屋市千種区)	筆者による直接配布・回収	研修生・労働ビザ保有者・配偶者ビザ所有者・留学生	24
11/29	三重 移動領事館会場 於：伊賀ふれあいプラザ(三重県伊賀市)	筆者による直接配布・回収	労働ビザ保有者・配偶者ビザ所有者・留学生	14
11/7-11/22	名古屋大学	留学生センターによる配布・郵送回答	留学生	19
11/-11/22	三重大学・岐阜大学	留学生センターによる配布・回収	留学生	9
合計				75

1) アンケート調査票に関しては、文末の別添1、2を参照のこと。

あった。このうち、男性は11名が労働に就いており、14名が学生、1名が不明であった。女性は17名が労働に就いており、15名が学生、7名が主婦、4名が不明であった。また配偶者の有無で見ると、男性は有配偶者が6名しかおらず、全員が妻はタイ人であり、日本人やその他外国人を妻としている在日タイ人男性は、今回の調査対象にはいなかった。これに対し、女性は27名が有配偶者であり、このうちタイ人の夫は3名のみである。夫のエスニシティは、日本人が20名、ブラジル人が2名、アルゼンチン人が1名、その他外国人（詳細不明）が1名であった。調査対象者の居住地は、そのほとんどが名古屋市と伊賀市に集中しているが、ほかに愛知県内の東海市、春日井市、また岐阜県岐阜市、三重県の津市、四日市市などにも分布している。

今回の予備調査では、調査回答者を、①就労者として日本に滞在している人々、②日本人の配偶者として日本に滞在している人々、③留学生として日本に滞在している人々、の3つに分類して分析することとする。専業主婦のみでなく、就労状況に関する質問の中で「働いている」と答えた人でも、日本人の配偶者を持っていれば配偶者ビザでの滞日の可能性が高いので「配偶者」グループとして扱った。また逆に、配偶者に関する質問の中で「配偶者有」と答えた人の中でも、配偶者が日本人でない場合には、就労ビザでの滞日の可能性が高いので就労者として扱った。

この3つのグループは、属性に際立った違いを見せている。①の就労者グループは、東北地方出身者が多く（48%）、家族の職業は農業が多い（44%）。家族の職業を「自営業」と答えている人も28%いるが、そのときの家族の月収が4千パーツから1万パーツ、1万パーツから1万5千パーツなど、2万パーツ以下の場合がほとんどであるところを見ると、会社経営という意味での自営業よりも、小売店を営んでいるようなケースが多いと考

えられる。家族の収入は、36%が1万パーツ以下であり、3千パーツ以下と答えた人も3人いる。2万パーツ以上と答えた人は、全体の20%しかいない。しかし、このグループの特徴として、比較的高学歴な点が挙げられる。このグループの人々は、48%にあたる12名が日本の高専にあたる5年生の高等職業訓練校を卒業しており、4名は大学、2名は大学院修士課程、1名は大学院博士課程を卒業している。

②の配偶者グループは、出身地域に偏りはなく、家族の職業も、タイ全体も目立った特長はない。家族の収入についても貧しい家庭から比較的豊かな家庭まで、分散した状況にある。また学歴も、小学校卒業以下の人から大学卒業まで、全体的に分散している。ただし、このグループに特徴的なのが、平均年齢37.8歳という、比較的年齢が高い点である。今回調査の対象となった人に20代の人はおらず、最年少が34歳、最年長が50歳であり、その多くは30代後半から40代半ばとなっている。それに伴い、このグループの人は、他の2つのグループに比べて滞在年数が10年以上と長い人が殊に多くなっている。

③の留学生グループは、出身地が明らかに首都バンコクを含む中部地方に偏り（62%）、家族の職業は、半数以上が公務員およびそれに準ずる職業である点が非常に特徴的である（51%）。また家族の職業を「自営業」と答えた人も、数名を除いて収入額を2万パーツ以上としており、小売店経営よりも会社経営である可能性が高い。家族の職業について農業を答えたのは1名しかおらず、この割合は明らかにタイ人全体の平均より低い。しかも留学生グループの構成員の、家族の収入の高さ、公務員率の高さは年齢が下になるにつれて高まる。さらに23歳を境に、それ以下の世代には海外留学・語学留学経験者が3名出現し、アメリカ、オーストラリアへ「経験を求めて」「見聞を広めに」行ったことがあると

いう人々が出てくる。これは、1990年代後半からのタイ社会の変化を如実に表していると言えよう。

(3) グループ別のコミュニケーション傾向

以上3つのグループそれぞれについて、①来日行為そのものにおける人的つながりの有無、②日本の公的な外国人支援経路やNPOとのコミュニケーションの度合い、③日本の地域社会とのコミュニケーションの度合い、④在日タイ人ネットワークとのコミュニケーションの度合い、⑤タイ出身地域とのコミュニケーションの度合い、そして⑥「在日タイ人」としての相互扶助グループがあったら参加を希望するか、という点について比較調査した。

まず、日本にやってくる際に、「海外に移住していた（したことがあった）家族・友人はいなかった」と答えた人は、どのグループも40%弱存在している。これは、日本へやってくるきっかけは、いくつかの既存研究が他のエスニック・グループについて指摘するような、個人的なネットワークを通じたものだけではなく、公的な機関や、私的なエージェントを通じる場合も多いという点を表していると言えよう。

また次に、日本の公的な外国人支援窓口やNPOとのコミュニケーションの度合いについては、「あなたは普段、問題が生じたときには誰に相談しますか」という質問に対し、留学生グループのみに、1名「公的な窓口やスタッフに問い合わせる」と答えた人がいたが、これは別の回答者が「その他」で書き添えている「大学の指導教授に相談する」というものと同類と推察することができる。これを踏まえて考えると、日本での生活に問題が生じたとき、各都道府県が設置している国際交流協会の相談窓口やNPOに相談している在日タイ人は、どのグループを見ても、1人もいないことがわかる。つまり東海地域の在日

タイ人の人々のあいだには、公的な支援窓口の利用は普及していないと見ていだろう。

つぎに、日本の地域社会とのコミュニケーションの度合いは、配偶者グループのみに「時々参加する」と答えた人が一番多く、それ以外の就労者グループ、留学生グループでは、「あまり参加しない」という回答がもっとも多かった。これは、日本人の配偶者として生活する人は、家族や子供に関する点から、日本人社会との接点が多いためということの意味しているだろう。しかし、どのグループにも「あまり参加しない」「まったく参加しない」という人が4割近くいることは、在日タイ人が、日本の地域社会との接点が少ないことを意味していると言えよう。

つぎに、東海地域にいくつか存在する、在日タイ人間のネットワークへの参加度について尋ねたところ、どのグループについても、在日タイ人どうしのネットワークの存在自体を知っているか知らないかについては、居住地によって決まることが明らかである。どのグループにおいても、名古屋市・岐阜市在住者で「存在自体を知らなかった」という人はおらず、東海市、春日井市、岐阜市の在住者であった。3グループを比較してみると、留学生グループがもっとも参加度が高く、59%となっている。就労者グループは48%、配偶者グループは47%の参加度となっている。これは、留学生たちは大学という共通の場に通っているために居住区が近接し、情報伝達もしやすいのに対し、就労者グループ、配偶者グループは、互いに近接した地域に住むとは限らず、時間的な制約も留学生グループより大きなために出た結果ということができよう。しかしここで注目されるのが、就労者グループ、配偶者グループには、「知っているが参加しない」と答えた人は、春日井市在住者の「遠いため」というケースを除いては存在しないのに、留学生グループにだけは、明確に「会の存在は知っているが自分は参加し

ない」と答えた人が4人いた。この4人は属性に共通点が見られ、年齢が若く(23歳3名、26歳1名、)タイの家族の職業は公務員もしくは自営業(もしくはその両方)であり、家族の収入は2万バーツ以上で家族への送金は「一度もしたことがない」と答えている。また、親の知りあい、親類など先に日本に滞在していた人を頼ってやってきたケースであり、イギリスやオーストラリアなどへ「見聞を広めるため」短期滞在したことがある場合もある。

つまり、これらの人々は、ごく豊かな家庭からの出身者だということができるのではないだろうか。従って、日本で同じ大学に通う学生であっても、とくに豊かな家庭や社会的地位が高いと感じている家庭を持つ人は、タイ出身者コミュニティに、意図的に入らないという傾向が存在しているのではないだろうか。もしくは、上述の4人の学生のうち、2人が23歳時点で日本での滞在歴が4年と6年であることを考えると、これらの人々は、大学入学時やそれ以前から日本で学んでいると考えられる。このような在日タイ出身者は、その他の大学院留学生と自分たちを差異化しているということもできるだろう。しかし、ここで注目されるのが、こうして日本での滞在期間が長かったり、日本滞在を開始した年齢が低かったりといった特徴を持ち、タイ出身者コミュニティに意図的に属さないようにしている人々が、タイの出身社会とのコミュニケーションが小さいわけではなく、また日本人とのコミュニケーションが緊密だというわけでもない点である。つまり、これらの人々は、日本人社会に溶け込んでいるから在日タイ人コミュニティに属さないというのではない。タイにおける出身階層や日本での滞在年数の長さといった「プライド」や「メンツ」から、タイ人コミュニティに意図的に属していないと言うこともできるのではないだろうか。事実、これらの人々は、「日本の生活で、どのような問題がありますか」という質問に

対し「問題はない」とは解答せず、何らかの「問題」を抱えていると答えている。言い換えれば、これらの人々にとって、在日タイ人コミュニティに属するか否かは、外国での生活状況改善のための実用性の問題ではなく、比較優位を保ための「プライド」によると考えることができる。

また、上述のように明確に「タイ人コミュニティを知っているが参加しない」と答えた人のほかに、この項目を無記入とした人が9名いた。これらの人々のうち1名は、回答者中唯一の博士課程卒業者であり、この回答者については、上述の「メンツ」による入会拒否の一部と考えることができるだろう。しかし、この博士課程卒業者以外の人を見ると、年齢層は20代から40代まで様々であるのに、「小学校も卒業しなかった」という回答の人が2名いるのを筆頭に、中学卒業、高校卒業といった、在日タイ人の中で比較的低い学歴の人がほとんどであった。大学を卒業した人には、無回答の人が1人もいない。また、高等専門学校卒業の学歴を持ちながら無回答だった2名のうち1名は、配偶者がブラジル人であり、これが何らかの影響を与えていた可能性もある。もし、これら無回答の人々を、在日タイ出身者コミュニティに積極的に「参加している」と回答できなかった人々として考えるならば、在日タイ人としてのコミュニティには、学歴や出身家庭の社会的地位が非常に高い人と、学歴や出身家庭の社会的地位が非常に低い人の双方が、「タイ人」としてのコミュニティとの関わりが薄いということができるのではないだろうか。これに関しては、本調査によって、確認と、もしそうした状況が確認されれば、そのメカニズムの解明が必要となるだろう。

タイの出身地域とのコミュニケーションの度合いは、どのグループも大きな差はなく、毎日連絡する人が1割程度、週に1回連絡する人と月に1回連絡する人がほとんどであ

る。また、これを総金頻度で見ると、実は、就労者グループでは誰もが毎月送金しており、配偶者グループ・留学生グループは送金をしていないというわけではない。就労者の中にも、20%の人々が、「家族へは一度も送金をしたことがない」と答えており、逆に配偶者グループでは就労者グループより多くの人々が定期的に家族へ送金している。また、留学生グループの中でも、1割程度の人々は、家族へ定期的に送金している。これらの定期的な送金している人々13名をグループ横断的に見てみると、対日年数の長短に関わらず分布しており、10年以上の長期滞在者も3名含まれている。つまり、長い間日本にいるに従って、出身社会との縁が切れていくわけではないと言えるだろう。また、学歴についても、大学卒業者が6名と半数近くを占め、大学院修士課程卒業者も1名いる。これは、「大学進学率が低そうな国で大学を出ている人は豊かで送金などしない」という考えは必ずしもいつも当てはまる訳ではなく、同時に「日本に出稼ぎに来ているような人は、貧しく、低学歴で家族を養うために日本へ来て働いている」という見方も必ずしもいつも当てはまる訳ではないということを示していよう。

なお興味深いのは、就労者グループの中で家族へ送金しない人々は、決して家族の収入が多い人ばかりではなく、逆に留学生の中で、何らかの形で家族へ送金している人は70%を越えているが、先述のとおり、留学生の中には家族の収入が高い人も多い。つまり、送金をするかしないかは、多分に文化的な要素を持っており——義理やメンツなど——、ただ貧しいから送金する、豊かだから送金しないという尺度では計れないのではないだろうか。この点は、これから本調査のインタビューで確認していくことが必要となるだろう。

また、「在日タイ人」としての相互扶助グループがあったら参加を希望するかという質問に関しては、どのグループでも、「そうし

たグループがあれば参加したい」という人が、約半数存在した。ところが、どのような活動を期待するかという点に関しては、グループごとに傾向が異なる面があった。どのグループでも、就職・職業に関するサポート、法的地位に関するサポート、日本人との交流の機会という3つの項目が比較的大きかった面では共通しているが、以下の部分が相違点であったとすることができるだろう。まず就労者グループでは、職探し・労働環境・家族問題・子育て環境・法的立場に関する問題など、あらゆる方面で「サポートをしてもらいたい」と考えている人がいる。また配偶者グループでは、仕事・子供の教育に関するサポートのほかに、「子供へのタイ文化継承の場」としての期待が大きい。一方で留学生グループでは、他のグループと同じように、就職に関するサポートへの期待のほかに、タイ人どうしの交流や、何より日本人との交流の機会を求める声が特に大きいと言えよう。

おわりに

ここまで見てきた予備調査から言えるのは、①就労のため来日している人々が一律に低学歴・貧困家庭出身で、家族に送金するために出稼ぎに来ているという構図は事実を反映していないという点、②配偶者として・留学生として日本で暮らす人々も、ある程度タイの家族へ送金している人の割合が高いという点——つまり、相対的に豊かな家庭出身と思われる人も送金経験がある人が多く、必ずしも貧しいから送金するという訳ではないという点、③在日タイ出身者の中でも、タイでの出身階層が極めて上の人と、極めて下の人とは、どちらも在日タイ出身者のコミュニティに属す可能性が低い、という点が挙げられる。

①に関しては、とくに研修生が多いと思われる20代の就労目的での来日労働者は、タイの中でも地方の農家出身でありながら、高

等専門学校や大学といった高学歴を得た人が多い。ここには、1990年代から指摘されてきた、開発援助によって教育整備が進んだ国の、産業の発達レベルと均衡しない教育レベルの一方的な改善による、高学歴失業者の増加を反映していると言えるのではないだろうか。つまり都会で高学歴を得た農村の青年の多くは、都会でホワイトカラーの職が得られない場合にも、もはや農村に帰って農業に従事する人はいない。この結果生じるタイの高学歴失業者問題と海外就労との関連性を、本調査の際に検証することができるのではないだろうか。

これは、タイ社会で超高学歴者となる留学生の中に、「在日タイ人会ができたとしたら希望する活動」として「就職・職業に関するサポート」を挙げた人が多かった点からも、裏付けることができるのではないだろうか。海外へ留学できる中産階級が増大した現在のタイ人留学生をめぐる状況は、海外留学すれば帰国後自国での高位高官が保証されていた20世紀半ばのタイ人留学生とは異なっている。「日本に留学するような東南アジアの人は一部の特権階級であり、帰国すれば高位高官が待っている（のだから、つまり彼らは卒業後すぐに自国へ帰るだろう）」というイメージは、もはや一昔以上古いイメージでしかない。1980年代に経済発展が進み、大量の中産階級が生まれたタイからの留学生は、もはや日本から欧米への留学生と同じく、外国で学位を取れば自国へ帰って高位高官が約束されているわけではない。しかもこのとき、日本と欧米の場合にはない10倍に近い賃金格差が、日本とタイの間には依然として存在している。これを考えれば、できることなら、せつかく苦勞して身につけた日本語を活かし、日本での就職・生活を望むタイからの留学生が増えていたとしても、何の疑問の余地もないだろう。しかし、この状況に対して、日本側の対応はどうだろうか。大量の留学生

が卒業後に日本で就職するのを受け入れる覚悟を持って、留学生を受け入れているだろうか。本調査では、この点の検証が望まれると言えよう。

また②に関しては、タイ出身者にとっての送金とは、社会的な行為としての側面を持つ点を指摘することができるのではないだろうか。つまり、海外移住者にとっての「送金」とは、家族の生活を支える、弟妹の学費を送るという——「貧しさ」を前提とした理由だけではなく、家族や親類・友人への「恩」や「義理」、または「メンツ」や「プライド」といったものから、「社会的に」行っている場合がある可能性を、本調査で検証することができるのではないだろうか。

さらに③に関しては、「在日タイ人」としての集まりに対しては、参加を希望する人が半数を超えるが、会の活動として希望するものは、立場によって大きく異なる。また、そうした会への参加をためらう理由として最大のもは「タイ人だという共通点だけでまとまるとは思えないから」というものであった。また上述のとおり、とくに豊か・超高学歴と推察できる人は、明確に「(在日タイ人としての)会の存在は知っているが、自分は参加しない」と明記している。また同時に、小学校卒業未満の学歴の人も、在日タイ人コミュニティへの参加度合いに関する質問への無回答者が多かった。ここから、タイでの出身階層の違いから、コミュニティに“馴染めない”人がいることが予測されよう。この点に関しては、本調査で、もっと多くの——様々な法的・社会的地位にある在日タイ人の人々からのサンプルを入手する必要があるといえよう。

いずれにせよ、この点に注目することで、既存研究が指摘してきた移民ネットワークから排除される部分に関して、排除と包摂のメカニズムを明らかにし、主流民族社会から排除されると同時に、移民社会から排除される人々の存在を浮き彫りにすることが可能とな

るのではないだろうか。

参考文献

Guarnizo, Luis E. 2003. “The Economics of Transnational Living.” *International Migration Review*. 37 (3): 666–699.

Guarnizo, Luis E., Portes, Alejandro. and Haller, William. 2003. “Assimilation and Transnationalism: Determinants of Transnational Political Action among Contemporary Migrants.” *American Journal of Sociology*. 108 (6): 1211–1248.

Hanafi, Sari. 2005. “Reshaping Geography: Palestinian Community Networks in Europe and the New Media.” *Journal of Ethnic and Migration Studies*. 31 (3): 581–598.

石井由香. 2003. 「移民の居住と生活——現状と展望」 駒井洋監修、石井由香編著『移民と居住と生活』 明石書店 pp. 19–55.

Jae-Soon, Joo-Schauen. and Behshid, Najafi. 2002. “Support, Lobbying and Networking in the Context of Trafficking in Women.” Lenz, Ilse., et, al. eds. *Crossing Borders and Shifting Boundaries: vol.II. Gender, Identities and Networks*. Leske + Budrich, Opladen. pp. 223–237.

Marina, Calloni. 2002. “International Women’s Networks, Social Justice and Cross-Border Democracy.” Lenz, Ilse., et, al. eds. *Crossing Borders and Shifting Boundaries: vol. II. Gender, Identities and Networks*. Leske + Budrich, Opladen. pp. 179–206.

Palloni, Alberto., Massey, Douglas, S. et, al. 2001. “Social Capital and International Migration: A Test Using Information on Family Networks.” *American Journal of Sociology*. 106 (5): 1262–1298.

Parreñas, Rhacel S. 2001. “Transgressing the Nation-State: The Partial Citizenship an ‘Imagined (Global Community)’ of Migrant Filipina Domestic Workers.” *Journal of Women in Culture and Society*. 26 (4): 1130–1154.

Piper, Nicola. and Uhlin, Anders. 2002. “Transnational Advocacy Networks, Female Labor Migration and Trafficking in East and Southeast Asia: A Gendered Analysis of Opportunities and Obstacles.” *Asian and Pacific Migration Journal*. 11 (2): 171–195.

Truong, Thanh-Dam. 1996. “Gender, International Migration and Social Reproduction: Implications for Theory, Policy, Research and Networking.” *Asian and Pacific Migration Journal*, 5 (1): 27–52.

図表

表 1：男女別居住地

居住地		男	女	合計
三重県	伊賀市	2	12	14
	津市	1	1	2
	四日市市	0	1	1
岐阜県	岐阜市	1	3	4
愛知県	春日井市	0	1	1
	東海市	1	0	1
	名古屋市	21	24	45
不明		0	7	7
合計		26	49	75

表 2：年齢階層

	男	女	合計
20歳以下	0	1	1
21–25	11	10	21
26–30	6	3	9
31–35	3	8	11
36–40	5	13	18
41–45	2	6	8
46以上	0	6	6
無回答	0	1	1
合計	27	48	75

表 3：就業状況

	男	女	合計
就業	10	17	27
主婦	0	7	7
学生	13	15	28
その他		4	4
合計	23	26	49

表 4：配偶者関係

	エスニシティ	男	女	合計
未婚		18	24	42
既婚	タイ人	6	3	9
	日本人	0	19	19
	ブラジル人	1	1	2
	アルゼンチン人	0	1	1
	その他	0	0	0
離婚		0	2	2
合計		25	50	75

表5：グループごと年齢階層

年齢(歳)	就労者	配偶者	留学生	合計
～25	5	0	15	20
26～30	1	0	8	9
31～35	1	4	3	8
36～40	9	7	1	17
41～	4	6	1	11
合計	20	17	28	65

表6：出身地

年齢(歳)	就労者	配偶者	留学生	合計
北部	2	5	4	11
東北部	10	5	4	19
中部	6	5	17	28
東部	0	0	1	1
西部	0	0	0	0
南部	2	2	2	6
合計	20	17	28	65

表7：タイに住む家族の職業

職種	就労者	配偶者	留学生	合計
会社員	4	1	6	11
公務員	1	0	11	12
自営業	4	6	8	18
農業	10	6	1	17
その他	0	3	2	5
無回答	1	1	0	2
合計	20	17	28	65

表8：タイに住む家族の収入

職種	就労者	配偶者	留学生	合計
3千B以下	3	0	1	4
4千B以上 1万B未満	6	6	1	13
1万B以上 1万5千B 未満	2	2	4	8
1万B以上 2万B未満	3	2	7	12
2万B以上	3	4	15	22
無回答	3	3	0	6
合計	20	17	28	65

表9：在日年数

在日期間 (年)	就労者	配偶者	留学生	合計
～2	2	0	12	14
3～5	8	5	12	25
5～10	1	4	4	9
11～15	2	3		5
16～20	1	2		3
20～	0	0	0	0
無回答	6	3	0	9
合計	20	17	28	65

表10：学歴

学歴	就労者	配偶者	留学生	合計
小学校卒業 以下	0	2	1	3
小学校	1	3	0	4
中学校	2	2	0	4
高校	0	4	1	5
高等専門学校	11	2	0	13
大学	2	3	9	14
修士	1	0	17	18
博士	2	0	0	2
その他		1	0	1
無回答	1	0	0	1
合計	20	17	28	65

表11：日本語習得レベル

習得程度	就労者	配偶者	留学生	合計
読み書き会話すべて問題なし	1	1	10	12
日常に差し支えない程度の読み書き会話を習得	6	1	6	13
会話は問題ないが読み書きはできない	3	8	2	13
ほとんどわからない	4	0	7	11
無回答	6	7	3	16
合計	20	17	28	65

表12：本人が来日する前に海外移住していた知合いの有無

有無	種類	就労者	配偶者	留学生	合計
あり	父母	0	0	0	0
	兄弟	4	2	2	8
	友人	3	5	5	13
	親類	0	0	4	4
	配偶者	1	0	0	1
	祖父母	0	0	1	1
	その他	0	2	3	5
なし		12	8	13	33
無回答		0	0	0	0
合計		20	17	28	65

表13：タイにいる家族・友人との連絡頻度

頻度	就労者	配偶者	留学生	合計
ほぼ毎日	1	2	5	8
週に1回程度	4	6	13	23
月に1回程度	13	9	8	30
年に1回程度	1	0	1	2
無回答	1	0	1	2
合計	20	17	28	65

表14：タイへの送金頻度

頻度	就労者	配偶者	留学生	合計
毎月	5	2	3	10
定期的ではないが送金している	7	8	5	20
特別な時だけ送る	4	4	7	15
一度も送金したことはない	4	2	11	17
その他	0	0	0	0
無回答	0	1	2	3
合計	20	17	28	65

表15：日本の地域社会への参加頻度

参加頻度	就労者	配偶者	留学生	合計
参加している	1	1	1	3
時には参加している	4	4	5	13
あまり参加していない	6	2	8	16
全然参加していない	3	4	13	20
無回答	6	6	1	13
合計	20	17	28	65

表16：トラブル発生時の相談相手

	就労者	配偶者	留学生	合計
タイにいる家族・友人	4	0	9	13
日本にいるタイ人の家族・友人	10	10	10	30
日本人の家族・友人	1	4	5	10
NGO/NPO	0	0	0	0
公的な相談窓口	0	0	1	1
その他	3	0	4	7
無回答	8	3	0	11
合計	26	17	29	72

表17：在日タイ人ネットワークへの参加度

	就労者	配偶者	留学生	合計
参加している	7	10	17	34
知っているが参加していない	0	1	5	6
存在自体を知らない	6	0	6	12
無回答	7	6	0	13
合計	20	17	28	65

表18：「在日タイ人会」ができたらしめて欲しい活動

希望する活動	就労者	配偶者	留学生	合計
1. 就職支援・職場のトラブルに関するサポート	8	5	10	23
2. 法的問題に関するサポート	7	5	11	23
3. 日本人家族・配偶者とのトラブルへのサポート	5	1	0	6
4. 子供の教育に関するサポート	4	2	0	6
5. 子供等へのタイ文化継承に関するサポート	1	3	5	9
6. 同一地域に住むタイ人間の交流のサポート	5	4	10	19
7. 同一地域に住む日本人との交流のサポート	7	5	12	24
8. その他	2	0	1	3
9. 無回答	5	1	0	6
合計	44	26	49	119

表19：「在日タイ人会」ができたら参加するか

参加希望の有無および理由		就労者	配偶者	留学生	合計
ぜひ作ってほしい		13	7	14	34
できたら参加するかもしれない	a. タイ人というだけで仲間になれるかわからない	5	3	5	13
	b. 仕事/勉強が忙しい	1	0	2	6
	c. 日本人家族が嫌がるかもしれないから	0	0	0	0
	d. 日本社会に早く馴染みたいのでタイ人だけで集まるのは避けたいから	1	4	0	5
	e. すっかり日本社会に馴染んだので、タイ人と集まる必要を感じない	0	0	1	1
	f. 不法滞在者の仲間だと勘違いされたくないから	0	0	0	0
	g. その他	0	0	1	1
	不明	0	0	1	1
無回答	4	3	4	11	
合計	24	17	28	69	

表20：在日タイ人の生活概要に関する質問紙調査結果

No.	1(1) 性別	1(2) 年齢 (歳)	1(3) 在日年 数(年)	1(4) 既婚 在国	2(1) 出身 地方	2(2) 学歴	2(4) 就業 状況	2(13) タイ家 族収入	2(8) 日本語 能力	2(11) 移住 知人	2(12) タイ家族 職業	2(14) タイ 連絡	2(15) タイ 送金	3(1) 配偶者	3(2) 結婚 年数	3(4) 子供 年齢	3(6) 子供との 会話言語	3(9) 居住地 (市)	3(10) 地域社会 参加度	4(1) トラブル 種類	4(2) トラブル 相談先	4(3) 在日タイ人 会参加度	4(6) タイ人会に 期待する事	4(7) 会への参加 希望有無
1	女	34			東北	中学	就労	2		友人	農業	週1	毎月	日本人				名古屋						2a
2	女	36			北部	高専	就労	5			農業	週1	不定期	日本人				名古屋		1,6			8	1
3	女	37			中部	高専	主婦	5			なし	月1	—	日本人				名古屋		3			1,5,6,7	3
4	女	38			中部	中学	主婦	6			自営業	月1	送らない	日本人				名古屋		2			2,4,6,7	2a
5	女	38			中部	中学	主婦	6		友人	自営業	週1	行事等	日本人				名古屋		2			1	3
6	女	41			中部	高専	主婦	5		友人	自営業	週1	行事等	日本人				名古屋		3			7	2a
7	女	41			北部	大学	主婦	2		兄弟	農業	週1	行事等	日本人				名古屋		2			5	3
8	女	45			北部	小学	就労	2			農業	月1	行事等	日本人				名古屋		2			1,2,3,5,6,7	3
9	女	46	3	台湾	南部	他	就労	1	良		農業	月1	毎月	日本人				名古屋	3	5		3	—	2a
10	女	22	3		東北	高専	就労	4	難		農業	月1	送らない	日本人				名古屋	5	9		1	—	1
11	男	22	3		東北	高専	就労	4	難		農業	月1	送らない	日本人				名古屋	5	9		1	—	1
12	男	22	3		中部	高専	就労	3	難		自営業	—	不定期	日本人				名古屋	3	9		6	—	3
13	男	24	1		東北	高専	就労	3	難		自営業	月1	不定期	日本人				名古屋	3	9		—	—	3
14	男	24	1		北部	大学	就労	5	良	友人	自営業	週1	送らない	日本人				名古屋	5	9		1	1,2,3,4,5,6,7	1
15	男	25	3		中部	高専	就労	2	良		農業	週1	毎月	日本人				名古屋	3	8		2	6,7	2a
16	男	26	4		北部	修士	学生	5	優	あり	自営業	月1	—	日本人		2	有	名古屋	2	6		3	—	1
17	男	27	3		中部	修士	学生	4	優		自営業	月1	行事等	日本人				名古屋	3	8		2	5,6,7	1
18	男	36	7		中部	博士	就労	3	良		農業	毎日	行事等	タイ人	2	有	0	名古屋	2	9		—	—	1
19	男	38	4	米	東北	大学	就労	1	優	友人	農業	月1	不定期	ブラジル人	11	有	9	名古屋	6	6		1	1,5,7,8	1
20	男	38			東北	高校	就労	4	良		会社員	年1	送らない	タイ人	12	有	16	名古屋	9	9		1	5	2a
21	男	40	15		中部	高校	就労	5	良	あり	会社員	月1	行事等	タイ人	18	有		名古屋	4	9		—	6	3
22	男	45	13		東北	大学	学生	4	良	兄弟	自営業	週1	行事等	タイ人	20	有		名古屋	6	2		3	1	2d
23	女	28	1		中部	大学	学生	3	良	兄弟	自営業	週1	行事等	タイ人		有		名古屋	5	6		3	7	1
24	女	33	4		東北	高校	ほか	2	難	友人	自営業	月1	毎月	日本人	4	有		四日	4	9		3	1	3
25	女	35	10		東北	小学	就労	6	可	あり	自営業	毎日	毎月	日本人	1	有		名古屋	2	1		1	2	1
26	女	37	14		南部	高校	主婦	2	可	友人	自営業	月1	不定期	日本人	15	有	13	名古屋	2	1		1	3	3
27	女	38	15		東北	高専	就労	2	優	あり	農業	毎日	行事等	日本人	10	有	20	名古屋	2	2		1	5	1
28	女	38	6		東北	大学	就労	4	可	あり	農業	週1	不定期	日本人	10	有		春日井	5	1		2	4	1
29	女	39	9		東北	小学	主婦	2	可		農業	週1	行事等	日本人	13	有		—	5	1		1	7	3
30	女	44	18		北部	無	主婦	6	可	あり	—	月1	行事等	日本人	5	有	25	—	9	9		—	—	3
31	女	47	5		中部	小学	ほか	3	可		自営業	週1	毎月	日本人	5	有	21	—	1	2		1	2	1
32	女	47	12		中部	高校	就労	5	可	あり	自営業	週1	不定期	日本人	4	有		—	3	1		1	2	1
33	女	49	18		北部	無	無	4	可		自営業	週1	不定期	日本人	17	有		—	9	9		—	—	3
34	女	55			中部	無	無	6	可		自営業	週1	不定期	日本人	1	有		—	5	9		—	—	3
35	女	26			中部	高専	就労	2	—		農業	月1	—	タイ人	1	有		伊賀	2	2		3	1,2,4,5,6,7	1
36	男	39	4		中部	大学	就労	4	—	友人	農業	毎日	毎月	タイ人	1	有		伊賀	5	1		1	—	1
37	男	18	8		東北	無	学生	1	優		他	月1	不定期	日本人	5	有		伊賀	5	6		1	4,7	1
38	女	34	8		中部	小学	就労	6	可	兄弟	農業	月1	行事等	日本人	3	有		伊賀	3	3		1	—	2
39	女	34	5		東北	高校	主婦	3	可	兄弟	自営業	月1	不定期	タイ人	1	有		伊賀	2	2		1	2	1
40	女	36	2		東北	中学	主婦	2	難	兄弟	自営業	月1	不定期	離婚(日)	1	有		伊賀	5	9		—	—	3
41	女	36	1		南部	大学	就労	2	難	兄弟	会社員	月1	毎月	離婚(他)	1	有		伊賀	2	5,6,7		3	1,2,3	1
42	女	39	16		東北	中学	就労	1	可		—	月1	不定期	日本人	1	有		伊賀	2	6		1	—	1
43	女	40	4	韓国	東北	大学	就労	5	良	友人	自営業	月1	送らない	日本人	11	有	5,6,8	伊賀	5	5		1	—	1

44	40	4	2	可	兄弟	職業	月	1	送らない	ブラジル人	有	16	タイ	伊賀	5	4	—	1,4
45	41	15	高専	親類	自営業	週1	—	不定期	タイ人	伊賀	5	1	タイ	伊賀	2	1,7	2	1,2,3,4,5,6,7
46	43	5	高専	友人	他	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	7	22,24	日英	伊賀	3	8	2	1,2,3,4,5,6,7
47	44	14	高専	友人	会社社員	週1	週1	不定期	アルゼンチン人	伊賀	1	—	—	伊賀	2,3	7	2	1,3
48	45	1	高校	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	4	4	2	7
49	24	4	高校	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	2	1	1	1,2,5,6,7
50	25	4	高校	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	2	1	1	1,2,5,6,7
51	27	3	大学	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	3	1	1	6,7
52	27	3	大学	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	3	1	1	12,7
53	28	5	大学	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	3	1	1	1,2,3,4,5,6,7
54	31	5	大学	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	3	1	1	1,2,3,4,5,6,7
55	34	5	大学	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	3	1	1	5
56	42	1	大学	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	3	1	1	5
57	22	1	大学	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	3	1	1	5
58	23	0.2	大学	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	3	1	1	6,7
59	23	1.5	大学	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	3	1	1	6,7
60	23	2.5	大学	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	3	1	1	6,7
61	23	6	大学	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	3	1	1	6,7
62	23	6	大学	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	3	1	1	6,7
63	23	8	大学	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	3	1	1	6,7
64	24	3	大学	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	3	1	1	6,7
65	27	0.8	大学	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	3	1	1	6,7
66	37	1	大学	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	3	1	1	6,7
67	37	1	大学	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	3	1	1	6,7
68	37	1	大学	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	3	1	1	6,7
69	22	1	大学	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	3	1	1	6,7
70	22	1	大学	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	3	1	1	6,7
71	27	2	大学	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	3	1	1	6,7
72	32	3	大学	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	3	1	1	6,7
73	35	4	大学	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	3	1	1	6,7
74	25	1	大学	友人	自営業	週1	週1	不定期	日本人	伊賀	4b	—	—	伊賀	3	1	1	6,7

注1:表中、「—」は無回答を表す。また、表1列目の数字は調査票の質問番号を表す。
 注2:2(2)の学歴中、「無」は無回答を表す。また、表1列目の数字は調査票の質問番号を表す。
 注3:2(2)の学歴中、「無」は無回答を表す。また、表1列目の数字は調査票の質問番号を表す。
 注4:2(2)の学歴中、「無」は無回答を表す。また、表1列目の数字は調査票の質問番号を表す。
 注5:2(2)の学歴中、「無」は無回答を表す。また、表1列目の数字は調査票の質問番号を表す。
 注6:2(2)の学歴中、「無」は無回答を表す。また、表1列目の数字は調査票の質問番号を表す。
 注7:2(2)の学歴中、「無」は無回答を表す。また、表1列目の数字は調査票の質問番号を表す。
 注8:2(2)の学歴中、「無」は無回答を表す。また、表1列目の数字は調査票の質問番号を表す。
 注9:2(2)の学歴中、「無」は無回答を表す。また、表1列目の数字は調査票の質問番号を表す。
 注10:2(2)の学歴中、「無」は無回答を表す。また、表1列目の数字は調査票の質問番号を表す。
 注11:2(2)の学歴中、「無」は無回答を表す。また、表1列目の数字は調査票の質問番号を表す。
 注12:2(2)の学歴中、「無」は無回答を表す。また、表1列目の数字は調査票の質問番号を表す。
 注13:2(2)の学歴中、「無」は無回答を表す。また、表1列目の数字は調査票の質問番号を表す。
 注14:2(2)の学歴中、「無」は無回答を表す。また、表1列目の数字は調査票の質問番号を表す。
 注15:2(2)の学歴中、「無」は無回答を表す。また、表1列目の数字は調査票の質問番号を表す。

謝辞

調査に関しては、「タイ女性 友の会」の大久保スリラットさんに、一方ならぬお世話になっている。また、水谷パッターマさん、山口ルンナティーさん、そしてピヤナン・ソーパナシリさんにも、大変お世話になった。心からお礼申し上げたい。また、在東京タイ大使館領事部のサタナ・カセムサン ナ アユタヤ領事、在大阪タイ総領事館のタゲンサック・レックラー副総領事には、移動領事館の場でアンケートを配布・回収することを、快く了解していただいた。ご理解に厚くお礼申し上げたい。さらに、タイ

総領事館領事部員のタッサワン・トーンハーンさんには、各領事への許可の便宜を図ってもらった。それに加えて三重大学国際交流科の廣井さん、岐阜大学留学生センターの飯沼さん、名古屋大学国際課の村井さんには、それぞれお忙しいところ、嫌な顔もせずタイ人留学生へのアンケート頒布をしていただいた。皆様のご理解とご協力に、心からお礼申し上げます。そして最後に、アンケート調査票作成を手伝ってくれたブリック、ペー、ピー・ナパットの3人にも感謝を伝えたい。

別添1: アンケート調査票 原本 คำถามเพื่อชีวิตที่ดีขึ้นของคนไทยในญี่ปุ่น	
คำชี้แจง โปรดเติมคำในช่องว่างหรือเขียนเครื่องหมายถูกลงในช่องสี่เหลี่ยม	
ตอนที่ 1 ข้อมูลทั่วไปเกี่ยวกับผู้ตอบแบบสอบถาม	
(1) เพศ <input type="checkbox"/> ชาย <input type="checkbox"/> หญิง	(2) อายุ _____ ปี
(3) ระยะเวลาที่อาศัยอยู่ที่ญี่ปุ่น _____ ปี	
(4) ประเทศที่เคยไปศึกษาหรือทำงานมาก่อน _____	
ตอนที่ 2 ชีวิตและครอบครัวของผู้ตอบแบบสอบถามขณะอาศัยอยู่ในประเทศไทย	
(1) มาจาก ภาคใดของประเทศไทย <input type="checkbox"/> ภาคเหนือ <input type="checkbox"/> ภาคอีสาน <input type="checkbox"/> ภาคตะวันออกเฉียงใต้ <input type="checkbox"/> ภาคกลาง <input type="checkbox"/> ภาคตะวันตก <input type="checkbox"/> ภาคใต้	
(2) ระดับการศึกษา <input type="checkbox"/> ต่ำกว่า ป.6 <input type="checkbox"/> ป.6 <input type="checkbox"/> ม.3 <input type="checkbox"/> ม.6 <input type="checkbox"/> อนุปริญญา (ปวช. / ปวส.) <input type="checkbox"/> ปริญญาตรี <input type="checkbox"/> ปริญญาโท <input type="checkbox"/> ปริญญาเอก	
(3) อาชีพขณะอาศัยอยู่ที่ประเทศไทย <input type="checkbox"/> ลูกจ้างบริษัท (บริษัทไทย/บริษัทญี่ปุ่น/ _____) <input type="checkbox"/> อาชีพการบริการ(โรงแรม,ร้านอาหาร/ _____) <input type="checkbox"/> นักเรียน / นักศึกษา <input type="checkbox"/> ธุรกิจส่วนตัว <input type="checkbox"/> เกษตรกร <input type="checkbox"/> อื่นๆ _____	
(4) อาชีพปัจจุบัน <input type="checkbox"/> ทำงาน (กรุณาระบุ _____) <input type="checkbox"/> ไม่ทำงาน (a. เป็นนักศึกษา b. เป็นแม่บ้าน c. อื่นๆ _____) กรุณาข้ามไปข้อ 6	
(5) คุณมีรายจ่ายในเรื่องใดบ้าง <input type="checkbox"/> ใช้เพื่อครอบครัวที่ญี่ปุ่น <input type="checkbox"/> ส่งไปให้ครอบครัวที่ประเทศไทย <input type="checkbox"/> ใช้เพื่อตัวเอง <input type="checkbox"/> ผักธนาคาร	
(6) เหตุผลในครั้งแรกที่ทำให้คุณเดินทางมาประเทศไทย <input type="checkbox"/> เพื่อมาทำงาน <input type="checkbox"/> เพื่อมาเรียน <input type="checkbox"/> เพื่อมาอยู่กับครอบครัว <input type="checkbox"/> อื่นๆ _____	
(7) คุณพูดภาษาญี่ปุ่นได้หรือไม่ <input type="checkbox"/> ได้ <input type="checkbox"/> ไม่ได้ (ข้ามไปข้อ (9))	
(8) คุณเข้าใจภาษาญี่ปุ่นระดับใด <input type="checkbox"/> ไม่มีปัญหาเรื่องพูด,อ่านและเขียน <input type="checkbox"/> พูดได้และอ่านได้ <input type="checkbox"/> พูดได้แต่อ่านไม่ค่อยได้ <input type="checkbox"/> ไม่ค่อยเข้าใจภาษาญี่ปุ่น	
(9) คุณเข้าใจภาษาญี่ปุ่นก่อนมาอยู่ญี่ปุ่นหรือไม่ <input type="checkbox"/> เข้าใจ <input type="checkbox"/> พอเข้าใจ <input type="checkbox"/> เข้าใจแต่น้อย <input type="checkbox"/> ไม่เข้าใจเลย	
(10) คุณเรียนภาษาญี่ปุ่นที่ไหน ระยะเวลาเท่าไร เรียนที่ _____ ระยะเวลา _____ เดือน/ปี	
(11) ก่อนคุณเดินทางมาประเทศไทยคุณมีเพื่อน,ญาติหรือครอบครัวอาศัยอยู่ในต่างประเทศหรือไม่ <input type="checkbox"/> มี (a. พ่อแม่ b. พี่น้อง c. เพื่อน d. อื่นๆ _____) <input type="checkbox"/> ไม่มี (a. พ่อแม่ b. พี่น้อง c. เพื่อน d. อื่นๆ _____) <input type="checkbox"/> ไม่เคยมี	
(12) ครอบครัวของคุณทำอาชีพอะไรที่ประเทศไทย <input type="checkbox"/> ลูกจ้างบริษัท (<input type="checkbox"/> บริษัทไทย <input type="checkbox"/> บริษัทญี่ปุ่น <input type="checkbox"/> อื่นๆ _____) <input type="checkbox"/> อาชีพให้บริการ (a. โรงแรม,ร้านอาหาร b. อื่นๆ _____) <input type="checkbox"/> นักเรียน / นักศึกษา <input type="checkbox"/> ธุรกิจส่วนตัว <input type="checkbox"/> เกษตรกร <input type="checkbox"/> อื่นๆ _____	
(13) ครอบครัวของคุณที่ประเทศไทยรายได้ประมาณเดือนละเท่าไร <input type="checkbox"/> น้อยกว่า3,000B <input type="checkbox"/> 4,000-10,000B <input type="checkbox"/> 10,000-15,000B <input type="checkbox"/> 15,000-20,000B <input type="checkbox"/> มากกว่า20,000B	
(14) คุณติดต่อกับครอบครัว,ญาติหรือเพื่อนที่อยู่ประเทศไทยบ่อยแค่ไหน <input type="checkbox"/> เกือบทุกวัน <input type="checkbox"/> อย่างน้อยสัปดาห์ละ 1 ครั้ง <input type="checkbox"/> อย่างน้อยเดือนละ 1 ครั้ง <input type="checkbox"/> อย่างน้อยปีละ 1 ครั้ง <input type="checkbox"/> ไม่ทราบ	
(15) คุณส่งเงินให้ทางบ้านบ้างหรือไม่ <input type="checkbox"/> ส่งให้ทุกเดือน <input type="checkbox"/> ส่งให้แต่ไม่ประจำ <input type="checkbox"/> ส่งให้ในโอกาสพิเศษ <input type="checkbox"/> ไม่เคยส่ง <input type="checkbox"/> อื่นๆ _____	
ตอนที่ 3 ชีวิตและครอบครัวของผู้ตอบแบบสอบถามที่ญี่ปุ่น	
(1) สถานภาพ <input type="checkbox"/> โสด (กรุณาข้ามไปข้อ (5)) <input type="checkbox"/> แต่งงาน <input type="checkbox"/> หย่า (กรุณาข้ามไปข้อ (5))	
(2) คุณแต่งงานมาแล้วกี่ปี _____ ปี	
(3) สามีคุณเป็นคนชาติอะไร <input type="checkbox"/> คนญี่ปุ่น <input type="checkbox"/> คนไทย <input type="checkbox"/> อื่นๆ _____	

(4) เมื่อคุณมีปัญหากับการใช้ชีวิตในต่างประเทศหรือปัญหาความแตกต่างทางวัฒนธรรม สามียุคมีส่วนช่วยแก้ปัญหาต่างๆหรือไม่ <input type="checkbox"/> ช่วยทุกครั้ง <input type="checkbox"/> ช่วยบ้างบางครั้ง <input type="checkbox"/> ไม่ค่อยช่วย <input type="checkbox"/> ไม่ช่วยเลย
(5) คุณมีลูกหรือไม่ <input type="checkbox"/> มี [อายุ;] <input type="checkbox"/> ไม่มี (กรุณาข้ามไปข้อ (9))
(6) คุณสื่อสารกับลูกด้วยภาษาอะไร <input type="checkbox"/> ภาษาไทย <input type="checkbox"/> ภาษาญี่ปุ่น <input type="checkbox"/> อื่นๆ _____
(7) คุณสอนภาษาไทยให้ลูกหรือไม่ <input type="checkbox"/> สอน <input type="checkbox"/> ไม่สอน
(8) คุณสอนวัฒนธรรมไทยให้ลูกหรือไม่ <input type="checkbox"/> สอน <input type="checkbox"/> ไม่สอน
(9) ปัจจุบันนี้อาศัยอยู่ที่จังหวัดอะไรและเมืองอะไร จังหวัด _____ เมือง _____
(10) คุณเข้าร่วมชมชนของชาวญี่ปุ่นในท้องถิ่นหรือไม่ <input type="checkbox"/> เข้าร่วมบ่อย <input type="checkbox"/> เข้าร่วมบ้าง <input type="checkbox"/> ไม่ค่อยเข้าร่วม <input type="checkbox"/> ไม่เข้าร่วมเลย
(11) ปัจจุบันนี้คุณอาศัยอยู่กับใคร <input type="checkbox"/> อยู่คนเดียว <input type="checkbox"/> อยู่กับเพื่อน (a. คนไทย b. คนญี่ปุ่น c. อื่นๆ) <input type="checkbox"/> อยู่กับครอบครัว / สามียุค (a. คนไทย b. คนญี่ปุ่น c. อื่นๆ) <input type="checkbox"/> อื่นๆ _____
(12) คุณใช้การประกันสุขภาพเวลาไปโรงพยาบาลได้หรือไม่ <input type="checkbox"/> ใช้ <input type="checkbox"/> ไม่ใช้ <input type="checkbox"/> ไม่ทราบ
ตอนที่ 4 สภาพชีวิตและปัญหาของผู้ตอบแบบสอบถามในปัจจุบัน
(1) คุณเคยมีปัญหอะไรบ้างในการใช้ชีวิตที่ญี่ปุ่น (ตอบได้มากกว่า1ข้อ) <input type="checkbox"/> เวลาไปโรงพยาบาลเพื่อที่จะรักษาโรค <input type="checkbox"/> การคลอดลูก <input type="checkbox"/> การเลี้ยงลูก <input type="checkbox"/> มีปัญหาหระหว่างสามียุคหรือครอบครัวญี่ปุ่น <input type="checkbox"/> มีปัญหาที่ทำงาน <input type="checkbox"/> ปัญหาเกี่ยวกับวิชา <input type="checkbox"/> ปัญหาเกี่ยวกับเรื่องสภาพการเงิน <input type="checkbox"/> อื่นๆ _____
(2) ปกติแล้วเวลาคุณมีปัญหาดังตัวเลือกข้างต้นคุณปรึกษาใครบ้าง <input type="checkbox"/> ครอบครัวหรือเพื่อนที่อยู่ประเทศไทย <input type="checkbox"/> ครอบครัว/เพื่อนคนไทยที่อยู่ญี่ปุ่น <input type="checkbox"/> ครอบครัว/เพื่อนคนญี่ปุ่น <input type="checkbox"/> สมาชิกกลุ่ม NGO/NPO <input type="checkbox"/> เจ้าหน้าที่พนักงานสวัสดิการและสังคมประจำจังหวัด <input type="checkbox"/> อื่นๆ _____
(3) คุณเข้าร่วมสมาคมคนไทยในญี่ปุ่นบ้างหรือไม่ <input type="checkbox"/> เข้าร่วม <input type="checkbox"/> รู้ว่ามีสมาคมอย่างนั้นแต่ไม่เข้าร่วม [เหตุผล _____] <input type="checkbox"/> ไม่รู้และไม่เคยเข้าร่วมสมาคมใดเลย
(4) คุณมีใบประกอบวิชาชีพจากประเทศไทยหรือใบรับรองอื่นๆที่สามารถช่วยคนไทยในญี่ปุ่นด้านใดบ้าง <input type="checkbox"/> แพทย์ <input type="checkbox"/> ทันตแพทย์ <input type="checkbox"/> พยาบาล <input type="checkbox"/> นักสังคมสงเคราะห์ <input type="checkbox"/> ทนายความ <input type="checkbox"/> ผู้ตรวจสอบบัญชี <input type="checkbox"/> ครู (a. ประถมศึกษา b. ม.ต้น c. ม.ปลาย) <input type="checkbox"/> ภาษาญี่ปุ่นระดับ1 <input type="checkbox"/> อื่นๆ _____ <input type="checkbox"/> ไม่มี
(5) ถ้ามีโอกาสคุณจะสอนวัฒนธรรมไทยเรื่องอะไรให้คนญี่ปุ่น <input type="checkbox"/> ภาษาไทย <input type="checkbox"/> ทำอาหารไทย <input type="checkbox"/> ไร่ไทย <input type="checkbox"/> ดนตรีไทย <input type="checkbox"/> อื่นๆ _____ <input type="checkbox"/> ไม่สอน
(6) ถ้ามีสมาคมอย่างเช่น "สมาคมคนไทยในญี่ปุ่น" เพื่อจุดประสงค์ให้คนไทยในญี่ปุ่นมีชีวิตที่ดีขึ้น คุณคิดว่าสมาคมนี้น่าควรจัดกิจกรรมอะไรบ้างคะ <input type="checkbox"/> ช่วยเรื่องทำงาน (หางาน/แก้ปัญหาที่ทำงาน) <input type="checkbox"/> ช่วยเรื่องกฎหมาย <input type="checkbox"/> ช่วยแก้ปัญหาเกี่ยวกับเรื่องในครอบครัวและสามียุค <input type="checkbox"/> ช่วยแก้ปัญหาเรื่องการศึกษาลูก <input type="checkbox"/> ช่วยในการจัดงานแสดงหรือกิจกรรมเพื่อเผยแพร่วัฒนธรรมไทยให้แก่ลูกหลาน <input type="checkbox"/> ช่วยให้มีกรพบปะ แลกเปลี่ยนระหว่างคนไทยที่อยู่ในละแวกใกล้เคียง <input type="checkbox"/> ช่วยให้มีกรพบปะระหว่างคนไทยและคนญี่ปุ่น <input type="checkbox"/> อื่นๆ _____
(7) คุณคิดอย่างไรเกี่ยวกับการจัดตั้ง "สมาคมคนไทยในญี่ปุ่น" <input type="checkbox"/> อยากให้จัดตั้งสมาคม <input type="checkbox"/> ถ้าจัดตั้งอาจจะเข้าร่วม ⇒ กรุณาบอกเหตุผล (a. เพราะแม้ว่าจะเป็นคนไทยด้วยกันก็เป็นการยากที่จะมารวมตัวเป็นกลุ่มเดียวกันได้ b. เพราะว่ยุ่งเรื่องเรียน / ทำงาน c. เพราะครอบครัวที่ญี่ปุ่นจะไม่ชอบ d. ไม่อยากสมาคมแต่กับคนไทยเพื่อที่จะได้คุ้นเคยกับสังคมญี่ปุ่นเร็วๆ e. ตอนนี้อยู่สบายแล้วจึงไม่ต้องการความช่วยเหลือจากคนไทยในญี่ปุ่น f. ไม่อยากถูกคิดว่าเป็นคนกลุ่มเดียวกับคนไทยที่มาแบบผิดกฎหมาย g. อื่นๆ _____)

ขอขอบพระคุณที่กรุณาสละเวลาและให้ความร่วมมือในการตอบคำถามค่ะ

別添2:アンケート調査票(日本語訳) 在日タイ人の生活に関する質問	
1 回答者に関する情報について	
(1) 性別 <input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	(2) 年齢 ____ 歳
(3) 日本滞在歴 ____ 年	
(4) 来日以前、留学・就労のために滞在した国 _____	
2 回答者のタイにおける生活および家族状況について	
(1) (タイ) 国内における出身地域 <input type="checkbox"/> 北部 <input type="checkbox"/> 東北部 <input type="checkbox"/> 南東部 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 東部 <input type="checkbox"/> 南部	
(2) 学歴 <input type="checkbox"/> 小学校卒業以下 <input type="checkbox"/> 小学校卒業 <input type="checkbox"/> 中学卒業 <input type="checkbox"/> 高校卒業 <input type="checkbox"/> 高専卒業 <input type="checkbox"/> 大学卒業 <input type="checkbox"/> 大学院修士卒業 <input type="checkbox"/> 大学院博士卒業	
(3) タイでの職業 <input type="checkbox"/> 会社員(タイ人経営/日本人経営/ _____) <input type="checkbox"/> サービス業(ホテル/ 飲食店/ _____) <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> その他 _____	
(4) 現在の職業 <input type="checkbox"/> 働いている (職名: _____) <input type="checkbox"/> 働いていない (a. 学生 b. 専業主婦 c. その他 _____) → 問6へ進む	
(5) あなたの収入の遣いみち <input type="checkbox"/> 日本の家族のために使う <input type="checkbox"/> タイの家族に送金する <input type="checkbox"/> 自分自身のために使う <input type="checkbox"/> 貯金する	
(6) あなたが最初に日本へやってきた理由 <input type="checkbox"/> 仕事のため <input type="checkbox"/> 勉強のため <input type="checkbox"/> 家族と一緒にいるため <input type="checkbox"/> その他 _____	
(7) あなたは日本語を話せますか <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 問9へ進む	
(8) あなたは日本語をどの程度使えますか <input type="checkbox"/> 読み書き・聴解・会話何も問題なし <input type="checkbox"/> 日常生活(会話・読むの)には十分 <input type="checkbox"/> 日常会話はできるが書くことは苦手 <input type="checkbox"/> 日本語はあまりわからない	
(9) あなたは来日前、日本語を話せましたか <input type="checkbox"/> 十分理解できた <input type="checkbox"/> 日常会話程度 <input type="checkbox"/> 少しだけ <input type="checkbox"/> まったくできなかった	
(10) あなたは日本語をどこで/どれくらいの期間学びましたか 場所 _____ 期間 _____ 月/年	
(11) 来日前、友人・親戚・家族に外国に住んでいる人はいましたか <input type="checkbox"/> いた (a. 父母 b. 兄弟 c. 友人 d. その他 _____) <input type="checkbox"/> 昔いたことがあった(a. 父母 b. 兄弟 c. 友人 d. その他 _____) <input type="checkbox"/> いたことがない	
(12) タイのあなたの家族は、何の職業をしていますか <input type="checkbox"/> 会社員(タイ人経営/日本人経営/ _____) <input type="checkbox"/> サービス業(ホテル/ 飲食店/ _____) <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> その他 _____	
(13) タイのあなたの家族の収入は、いくらですか。 <input type="checkbox"/> 3,000B 以下 <input type="checkbox"/> 4,000-10,000B <input type="checkbox"/> 10,000-15,000B <input type="checkbox"/> 15,000-20,000B <input type="checkbox"/> 20,000B 以上	
(14) あなたは、タイの家族・親類や友人と連絡を取りますか。 <input type="checkbox"/> ほぼ毎日 <input type="checkbox"/> 少なくとも週に1回 <input type="checkbox"/> 少なくとも月に1回 <input type="checkbox"/> 少なくとも年に1回 <input type="checkbox"/> 何とも言えない(I'm not sure)	
(15) あなたは、(タイの家に) 送金していますか。 <input type="checkbox"/> 毎月送っている <input type="checkbox"/> 定期的にはないが送っている <input type="checkbox"/> 特別なときだけ送っている <input type="checkbox"/> 1度も送金したことはない <input type="checkbox"/> その他 _____	
3 回答者の日本での生活について	
(1) 婚姻関係 <input type="checkbox"/> 独身 (→ 問5へ進む) <input type="checkbox"/> 有配偶 <input type="checkbox"/> 離婚 (→ 問5へ進む)	
(2) 結婚してから ____ 年	
(3) 配偶者の国籍 <input type="checkbox"/> 日本人 <input type="checkbox"/> タイ人 <input type="checkbox"/> その他 _____	

(4) あなたが、外国人として何かの問題に直面したとき、配偶者は問題解決を助けてくれますか。 <input type="checkbox"/> いつも助けてくれる <input type="checkbox"/> 時々助けてくれる <input type="checkbox"/> あまり助けてくれない <input type="checkbox"/> 全く助けてくれない
(5) 子供はいますか。 <input type="checkbox"/> いる [年齢;] <input type="checkbox"/> いない (→ 問9へ進む)
(6) あなたは子供と何語で話しますか。 <input type="checkbox"/> タイ語 <input type="checkbox"/> 日本語 <input type="checkbox"/> その他 _____
(7) あなたは子供にタイ語を教えていますか。 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
(8) あなたは子供にタイの文化について教えていますか。 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
(9) 現在、何県何市に住んでいますか。 _____ 県 _____ 市 _____
(10) あなたは (日本人の) 地域社会に参加していますか <input type="checkbox"/> よく参加している <input type="checkbox"/> たまに参加している <input type="checkbox"/> あまり参加しない <input type="checkbox"/> 一度も参加したことはない
(11) あなたは現在、誰と住んでいますか。 <input type="checkbox"/> 独り暮らし <input type="checkbox"/> 友達と (a. タイ人 b. 日本人 c. その他) <input type="checkbox"/> 家族/ 夫と (a. タイ人 b. 日本人 c. その他) <input type="checkbox"/> その他 _____
(12) あなたは、病院に行くとき保険を使いますか。 <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> わからない
4 回答者が現在抱えている問題について
(1) あなたが日本の生活で問題に直面したのはどのようなときですか (複数回答可) <input type="checkbox"/> 病気で病院へ行ったとき <input type="checkbox"/> 出産のとき <input type="checkbox"/> 子育てのとき <input type="checkbox"/> 日本人の家族/夫とトラブルがあったとき <input type="checkbox"/> 職場でトラブルがあったとき <input type="checkbox"/> ビザの問題が起きたとき <input type="checkbox"/> 相続のとき <input type="checkbox"/> その他 _____
(2) 普段、あなたに問題が起こったとき、誰に相談しますか。 <input type="checkbox"/> タイにいる家族/ _____ <input type="checkbox"/> 日本にいるタイ人の家族/ 友人 <input type="checkbox"/> 日本人の家族/ 友人 <input type="checkbox"/> NGO/NPO スタッフ <input type="checkbox"/> 社会福祉協議会担当者 <input type="checkbox"/> その他 _____
(3) あなたは、在日タイ人のコミュニティに参加していますか <input type="checkbox"/> 参加している <input type="checkbox"/> あるのは知っているが参加していない [理由] <input type="checkbox"/> あることを知らないで参加したことがない
(4) あなたは、在日タイ人間の相互扶助に有効な以下のタイ政府からの免許を持っていますか。 <input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 弁護士 <input type="checkbox"/> 会計士 <input type="checkbox"/> 教員 (a. 小学校 b. 中学校 c. 高校) <input type="checkbox"/> 日本語検定1級 <input type="checkbox"/> その他 _____ <input type="checkbox"/> なし
(5) あなたは、タイの文化で日本人に教えらるものがありますか <input type="checkbox"/> タイ語 <input type="checkbox"/> タイ料理 <input type="checkbox"/> タイ舞踊 <input type="checkbox"/> 伝統楽器 <input type="checkbox"/> その他 _____ <input type="checkbox"/> 教えない
(6) もし「在日タイ人の会」というような会ができれば、その会はどのような活動をすべきだと思いますか。 <input type="checkbox"/> 就職・職業支援(就職支援/職場の問題への対応) <input type="checkbox"/> 法的問題の解決支援 <input type="checkbox"/> 日本人家族・配偶者との問題への支援 <input type="checkbox"/> (子供の) 教育問題への支援 <input type="checkbox"/> 子供などへタイ文化を伝承する活動 <input type="checkbox"/> 同一地域にいるタイ人間の交流支援 <input type="checkbox"/> 同一地域にいるタイ人と日本人の間の交流支援 <input type="checkbox"/> その他 _____
(7) あなたは「在日タイ人の会」のような会をつくることについて、どう思いますか <input type="checkbox"/> ぜひ作って欲しい <input type="checkbox"/> もしできれば参加するかもしれない ⇒ 理由 (a. 「タイ人」という共通点だけで仲間になれる はまだわからないから b. 仕事/勉強に忙しいから c. 日本人家族が嫌がるかもしれないから d. 日本社会に馴染むため、タイ人だけで集まるのは避けたいから e. すっかり日本社会に馴染んだ ので、タイ人で集まる必要性を感じない f. 不法滞在者の仲間だと勘違いされたくないから g. その他 _____)

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。